

食安輸発第1102001号
平成18年11月2日

各検疫所長 殿

医薬食品局食品安全部監視安全課
輸入食品安全対策室長
(公印省略)

食品衛生法第26条第3項に基づく検査命令の実施について

標記については、平成18年3月31日付け食安輸発第0331001号（最終改正：平成18年10月25日付け食安輸発第1025003号）にて通知したところですが、今般、輸入時のモニタリング検査において、ベトナム産乾燥ほうれんそうから基準値を超えるインドキサカルブを検出したこと及び中国産乾燥きくらげから基準値を超えるクロルピリホスを検出したことから、下記のとおり検査命令を行うこととしましたので、御了知の上、関係業者への周知方よろしくお願ひします。

なお、同通知の別表1を別添のとおり改めます。

記

1. 製品検査の対象食品	ベトナム産ほうれんそう及びその加工品 (簡易な加工に限る。)	中国産きくらげ及びその加工品 (簡易な加工に限る。)
2. 検査の項目	インドキサカルブ	クロルピリホス
3. 検査の頻度	輸入者に対し、輸入届出ごとの全ロットについて製品検査を受けることを命ずること。	
4. 試験品の採取方法	平成18年3月31日付け食安輸発第0331001号別表2の3によること。	
5. 検査の方法	平成17年1月24日付け食安発第0124001号「食品に残留する農薬、飼料添加物又は動物用医薬品の成分である物質の試験法について」によること。	
6. 検査を受けることを命ずる具体的理由	基準値(0.01ppm)を超えるインドキサカルブが検出されるおそれがあるため。	基準値(0.01ppm)を超えるクロルピリホスが検出されるおそれがあるため。
7. 備考	基準値を超えた場合にあつては、食品衛生法第11条違反として措置すること。	